

ホンダ、11年ぶり優勝

都市対抗野球

第91回都市対抗野球大会最終日は3日、東京ドームで決勝が行われ、ホンダ(狭山市)がNTT東日本(東京都)を4-1で下し、11年ぶり3度目の優勝を果たした。

い付かれたが、五回に井上が勝ち越しの3点本塁打を放った。朝山は8回を3安打1失点と好投。大会10打点の井上が橋戸賞(最優秀選手賞)に輝いた。NTT東日本は3年ぶりの優勝を逃した。

▽決勝	
NTT東日本(東京都)	0100000000
ホンダ(狭山市)	100030000X
	4 1

〔東〕沼田、熊谷、堀、佐々木
〔保坂、佐久本〕朝山、福島
―辻野園井上①(沼田)



五回裏、井上が勝ち越し3ランを放つ

近年の低迷 打ち破る

新型コロナウイルスの影響で日本選手権など大会中止が相次いだ中、何とか開催にこぎ着けた都市対抗。就任1年目でいきなり公式戦がない状況を経験してきたホンダの開田監督は「感無量というか、スタートした時の苦勞を思い出した」と優勝の感慨に浸った。

「こういった環境でも野球をやれる喜びを日々、かみしめよう」と選手たちに呼びかけ、掲げたテーマは「喜びの創造」。持ち味の打力が生きた決勝戦で、まさにナインは感情をあらわにした戦いぶりを見せた。

1-1の五回、苦しみながらも相手左腕、沼田のチェンジアップを「狙っていた。絶対に打ってやるという気持

(常広文太)